

患者さんは本音が言えていますか

- ついつい治療としての良い点、必要性を伝えるのに注力してしまう。(心理教育として継続の必要性は説明)
- 例えば、退院前に薬について患者さんは本音が言えていますか
- 「今飲んでいるお薬、実際退院した後に続けてもいいと思いますか？」
- 私だったらもしかしたら‘もういいかな’って思っちゃうかもしれません

- 調子もいいしあってると思います。
- 本当は飲みたくないです。
- 家族(主治医)と約束したんで・・・

患者の思い（本音）を引きだし受け止める。

- * 日々患者さんとかかわる中で、どのようにコミュニケーションを図っているのか、ディスカッションを行い、**LEAP**を用いる場面などを共有しました
- * 日常のコミュニケーションに活かせるような学びのヒントがたくさん詰まっていました



参加者からは、

「相手の立場に立つことの大切さを改めて感じた」

- 「共感の姿勢が信頼関係の第一歩になると気づいた」
- などといった感想が寄せられました。

患者さんの気持ちに寄り添いながら、信頼関係を築くために**LEAP**技法を取入れ、治療に取り組めるように患者さんを支えていきたいです！